

分類	防食被覆工法			
対象施設分類	上水道施設	工法分類	塗付け型	要求性能の適合性 K 143
工法・材料名	ガードプルーフ コーティング工法 ライニング工法			

工法・材料の特徴

- ①日本水道協会JWWA K 143に適合するとともに、鉛などの重金属を含んでいません。
- ②厚生労働省令第15号及び厚生労働省令第101号による水質基準に適合しています。
- ③次亜塩素酸ソーダなどの消毒剤・滅菌剤に対する耐薬品性に優れています。
- ④フィラーは水性、上塗りは無溶剤のため、溶剤臭気がほとんどなく、安全に作業できます。
- ⑤浄水場、貯水タンク、防火水槽、各種水利施設のコンクリート水槽内面を強力に保護します。

仕様諸元

要求性能への適合性（性能試験結果）

製品名		主材料樹脂
ガードプルーフ		無溶剤エポキシ樹脂
対応規格	工法名	仕様
EN工法	コーティング工法	設計膜厚0.5mm以上
EG工法	ライニング工法	設計膜厚0.5mm以上

JWWA K 143 塗膜の品質 及び 浸出性

外観	○
付着強さ	○
耐衝撃性	○
耐アルカリ性	○
透水性	○
塩化物イオン透過度	○
低温・高温繰返し	○
浸出性	○

適用条件

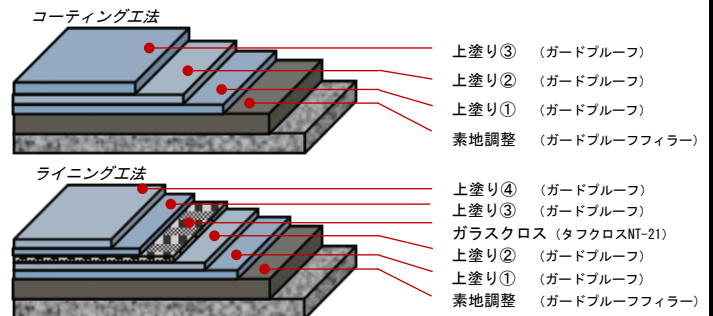
1. 対象構造物：浄水場、貯水タンク、防火水槽など
2. 前処理：役物回りの前処理、コンクリート表面処理、欠陥部の修正処置、湧水・漏水部の止水処理が必要
3. 下地条件：コンクリート躯体及び断面修復モルタルの含水率5%以下
4. 施工環境：雰囲気温度5℃～35℃、湿度85%以下で施工可能。左記以外は温度、湿度調整などの環境改善が必要
5. 養生期間：23℃の場合7日以上、10℃の場合14日以上、5℃の場合28日以上
6. その他：屋外など紫外線の影響を受ける部位はガードプルーフ施工後に耐候性上塗り（2工程）が別途必要

※その他詳細につきましては、「ガードプルーフ」カタログをご確認ください

工法・材料概要

施工断面

工程	製品名	概要
素地調整材	ガードプルーフフィラー	エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタル
上塗り材	ガードプルーフ	無溶剤エポキシ樹脂
ガラスクロス	タフクロスNT-21	EPF-21A
増粘材	アエロジルRY-200S	シリカ粉



概算工事費

■ガードプルーフ

2022年9月版

工法名／施工部位	床面	壁面	天井面	梁・役物	単位
コーティング工法	9,800	12,200	15,800	20,600	円/m ²
ライニング工法	14,500	18,100	23,300	30,300	

- ①単価は300㎡以上を基準にしています。
- ②単価には前処理、下地処理費は含まれていません。
- ③各仕様はそれぞれフィラー施工費用（1回 1kg/m²）を含みます。フィラー施工回数、使用量により価格が変わります。
- ④耐候性仕上げが必要な場合は上記価格＋2,200円が別途必要となります。
- ⑤メンテナンス工事は下地状況、作業環境に応じて別途価格となります。

施工工程

コーティング工法（EN工法）

素地調整

- ・ガードプルーフフィラー
- ・使用量 0.5~2.0kg/m²（1~2回塗り）

上塗り①

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.4~0.5kg/m²

上塗り②

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.3~0.4kg/m²

上塗り③

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.3~0.4kg/m²



ライニング工法（EG工法）

素地調整

- ・ガードプルーフフィラー
- ・使用量 0.5~2.0kg/m²（1~2回塗り）

上塗り①

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.4~0.5kg/m²

上塗り②

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.2~0.3kg/m²

ガラスクロス積層

- ・タフクロスNT-21（ガラスクロスEPF21A）
- ・使用量 1.1m²

上塗り③

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.4~0.5kg/m²

上塗り③

- ・ガードプルーフ
- ・使用量 0.3~0.4kg/m²

主な用途例 / 施工・納入実績

2023年	静岡県	清水谷津浄水場
2022年	島根県	今津浄水場
2021年	埼玉県	川越水上公園
2021年	愛知県	豊川浄水場
2021年	東京都	榎下浄水場排水池
2021年	広島県	某半導体製造工場

※詳細につきましてはお問合せ下さい

問い合わせ先

全国上下水道 エポキシ工事業協会

〒103-0027

東京都中央区日本橋 1-15-4

E-MAIL: info@zenepokyo.com

TEL: 03-3613-7527

FAX: 03-3618-2255

HP: <https://zenepokyo.com/>

全工ポ協

全国上下水道エポキシ工事業協会（全エポ協）では、約30年間にわたり上下水道コンクリート構造物の防食被覆材に用いられるエポキシ樹脂の性能向上を目的として、供用施設や試験室における浸漬試験を行い、その結果に基づいて、会員各社が材料・工法を開発改良を重ねてまいりました。本ガイドブックでは、全エポ協で研究に携わってきた会員の防食被覆工法を紹介するものです。

日本特殊塗料株式会社

お問合せは右のQRコードをご利用ください

HP: <http://www2.nttoryo.co.jp/>



■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762
本部インフラ推進部	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎080-1112-3709	FAX(03)4363-6436

